

表彰理由

○秋田労働局長優良賞（安全確保対策）

株式会社SMMプレシジョン

事業場の安全衛生管理体制が確立されており、リスクアセスメント※を平成 20 年から継続的に実施している。

また、ヒヤリハット事案を「安全カード」と称し、全労働者から毎月収集し、当該事案を踏まえリスクアセスメントを実施し、作業手順書を改訂または作成することにより、リスク低減措置を講じている。

さらに、安全パトロールを積極的に実施しており、経営トップが参加する「作業観察パトロール」では、作業手順書の順守状況やより安全な作業方法の有無等の確認を行い、設備の改善、作業手順の改善等を迅速に行っている。

作業手順書は、全労働者にメールで配信するほか、作業従事者には紙媒体で配付し、安全教育時にも活用している。

このような取り組みにより、平成 12 年 8 月の創業以来、休業 1 日以上労働災害は発生しておらず、その創意工夫をこらした安全衛生活動の水準は特に優秀で、他の模範になるものと認められた。

※ リスクアセスメント：機械・設備や作業等に伴う危険性・有害性を見つけ出し、これを除去・低減していくための手法。リスクは負傷等（災害）の重篤度、発生頻度（可能性）から程度のランク付け（見積もり）を行い、よりリスクの高いものから低減等のための安全対策を講じていくもの（以下、同じ）。

○秋田労働局長奨励賞（安全確保対策）

有限会社秋田グリーンサービス

事業場の安全衛生管理体制が確立されており、生産請負事業等の受注後や作業現場ごとにリスクアセスメントを実施し、積極的にリスク低減措置を講じている。

また、「社内ガイドライン」と称する作業工程別の作業手順書を作成し、写真やイラストを取り入れながら、関係労働者へ周知している。

毎年実施する安全大会で、ヒヤリハット体験について寸劇による発表を行わせ安全意識の向上を図っているほか、「伐倒コンクール」と称して、作業現場において伐倒方向の正確性を競わせ伐倒技術の向上を図っている。

さらに、同大会で、熱中症や蜂さされ災害時の応急手当や救護方法等の初動対応確認を行うなど、労使一体となって工夫をこらしながら、災害防止対策に取り組んでいる。

このような取り組みにより、平成 28 年 7 月 6 日以降、休業 4 日以上労働災害は発生しておらず、その創意工夫をこらした安全衛生活動の水準は優秀で、他の模範になるものと認められた。

○秋田労働局長奨励賞（安全確保対策）

大森建設株式会社

事業場の安全衛生管理体制が確立されており、施工計画段階や現場での作業実施前にリスクアセスメントを実施し、積極的にリスク低減措置を講じている。

また、年間の「安全衛生年間計画」に基づき安全衛生活動を積極的に推進しており、毎年実施する安全大会を契機に災害防止に関する好事例を「安全取り組み事例」として共有し、水平展開しているほか、施工する工事現場のパトロールを現場ごとに週に数回実施し、併せて評価結果を交付するなど現場に対する安全指導を積極的に行っている。

さらに、下請けを含め作業員に対する安全衛生教育を積極的に実施し、現場のルールや安全の取り組み事項等を周知することにより、安全衛生意識の向上を図っている。

このような取り組みにより、平成28年1月以降、下請労働者を含め、休業4日以上の上の労働災害は発生しておらず、その創意工夫を凝らした安全衛生活動の水準は優秀で、他の模範になるものと認められた。

○秋田労働局長安全衛生推進賞

つちざき せんえつ
土崎 銑悦 氏

建設業労働災害防止協会秋田県支部山本分会 事務局長

平成24年4月から、現在に至るまでの8年6か月にわたり、建設業労働災害防止協会秋田県支部山本分会の事務局長として、

- 1 毎年10月に開催する「能代地区労働災害防止連絡協議会※」主催の能代山本地区安全衛生大会の開催にあたって、事務局として尽力し、地域における安全衛生水準の向上発展のため多大な貢献が認められること。
- 2 能代労働基準監督署、山本地域振興局及び（一社）能代山本建設業協会による合同の建設現場に対する安全パトロールを毎年実施し、建設業の安全衛生水準の向上発展のため多大な貢献が認められること。
- 3 平成29年から、秋田県木造家屋建築工事災害防止協議会能代山本地区委員会の事務局として、労働基準監督署や各構成員による木造家屋建築工事現場の合同パトロールを毎年実施し、木造家屋建築工事業の安全衛生水準の向上発展のため多大な貢献が認められること。

※ 能代地区労働災害防止連絡協議会：（一社）秋田県労働基準協会能代支部、陸上労働災害防止協会秋田県支部山本分会、能代市区電気工事安全対策協議会、能代木材産業連合会及び建設業労働災害防止協会秋田県支部山本分会の5団体で構成され、平成5年に発足して以来、地域における労働災害防止の重要性を広く周知することを目的に、能代労働基準監督署との相互協力のもと、業種間の垣根を超えて、安全衛生キャラバン活動、ゼロ災緑十字カレンダーや安全の誓いカード等の取り組みを行ってきたほか、平成15年から能代山本地区安全衛生大会を毎年開催している。